



いわぬまアシスト

大友 健

### 集団移転跡地の活用

問 跡地とは国の交付金で岩沼市が買い取った公共用地。合計114畝のうち9割の102畝が取得済みで、市有地はいっぱいある。

①ここを火葬場の建設候補地としてどうか。千年希望の丘と同じ高さに盛り土し、16番目に位置付け「火葬場公園」として整備してはどうか。震災メモリアル。火葬の待ち時間を生かし、海を展望しながら震災・防災に思いをはせる…。待合ロビーなどに加えて、展示ルームも設け、震災を後世に伝える機能を併せるのもいい。電気や水道などインフラも整備されている。火葬場建設用地にという考えがあるか。

②グラウンドゴルフ場やパークゴルフ場への活用はどうか。パークなら県内に既にある六つの公認施設を見ても、狭いところは2畝で広くても6畝だ。例えば貞山運河沿いにコース設定すれば風景もいいし、人気コースになりそう。愛好者は全国で120万人を超え

るそうで、観光を兼ねたプレー客の誘致も期待される。

③工業団地に活用できないか。海に近いという障害は市が提示する条件やサービスといった別の措置で克服できると思うがどうか。

市長 ①「火葬場候補地」については復興の進捗状況で大きく変化しているの、あらためて検討

### 火葬場やパークゴルフに

します。

②パークゴルフ場など生涯スポーツ施設の立地は、市民の意向を踏まえ、土地利用計画の中で可能性を探ります。

③工業団地化は難しいと考えます。

### 地方創生

問 内閣官房に創生本部が設置され、市町村も「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定することが努力義務となった。しかし、東京一極集中の是正はできなかつたし、地方創生というお題目が地方活性

化の決め手になるかどうか疑わざるを得ない。人口減少にも歯止めがかからないのが現実だ。

①新しい「市民活動支援」についてだが、「ささやかな活動」に対する支援だという。市民活動を増やしたい、生きがいづくりにもつながる（という市長の）考えには共感する。まちに住む人の帰属意識が高まると思う。そんな活動の支援だから審査基準を緩め、市民が申し込みしやすくする考えはないか。

②また（人口ビジョンと関係するが）人口増を目指すのか、社会増に重点を置くのか、または現住する市民福祉の追求がメインか。きのうの代表質問に対し「いま岩沼に住んでいる人が安心して暮らせるまちを目指す」との答弁が繰り返された。人口減を前提にする姿勢が大事で、共鳴する。いま住んでいる人への施策として、ほかにどんなことが考えられるか。

③大津波で破壊された千寿荘の再興を願う高齢者は多い。交流の場は必要ではないか。軽い飲食ができてカラオケも。暮会所もあれ

ば将棋やコミュニケーション麻雀もできる…。それに子育てママさんも集えて、幼児の遊び場も。さらには受験勉強室とか、DVDが上映できる小規模シアタールームやバンド練習用音楽スタジオも…。

そういう全世代交流施設をまちなかに建設してはどうか。地方創生はハコ物をご法度というわけではないはずだ。

市長 ①市民活動支援は、主体的に行う地域づくりへの支援です。（支援審査基準の緩和は）審査会が認めれば簡素化します。

②どちらか一方に重点を置くという考えではありません。子育てしやすい環境の整備とともに雇用の確保に努めたいと考えます。

③千寿荘の再興は考えませんが、しかし、国の総合戦略では「世代交流・支え合い」が推奨されているので市の戦略に位置付けられるなら検討します。

◎その他の一般質問  
・政治姿勢

### 会派所属議員

大友 健、須藤 功